

中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2007年10月9日号

©2007年8月小麦市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2007年8月における小麦市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

1 1～7月の小麦輸出量は119.1万トン、前年同期比2倍以上の増

海関統計によると、2007年7月の中国の小麦輸出は引き続き高水準を維持した一方、輸入は引き続き減少した。7月の小麦輸出量は28.24万トンで、前月比0.4%増、前年同月比2.7倍増となった。同じく輸入量は0.1万トンで、前月比43.4%減、前年同月比97.8%減となった。1～7月の中国の累計小麦輸出量は、前年同期比2.1倍増の119.1万トン、同じく累計輸入量は同80.3%減の7.13万トンとなった。1～7月の中国の小麦主要輸入相手国はカナダ、オーストラリア及び米国、同じく主要輸出相手国はフィリピン、ベトナム、インドネシア及びスリランカであった。

2 2007/08年度の国内供給は比較的余裕、国際在庫量は最近26年間で最低と予測

【国内市場】2007/08年度（2007年6月～2008年5月）における国内の小麦生産量はやや増加と予測されている。総消費量は前年度に比べやや増加し、そのうち食用消費量は基本的に安定するものの、国内畜産業の発展に加え、一部の地区ではトウモロコシ価格が小麦価格を上回ったこと及びバイオエネルギー需要の影響を受け、小麦の飼料消費量及び工業消費量の増加が比較的大きいとみられている。今年度の国内小麦供給は需要を満足させるものと予測され、小麦の期末在庫量は前年度を小幅ながら上回るものとみられている。

【国際市場】8月の米国農務省（USDA）の予測によると、前月の予測に比べ、2007/08

年度の世界の小麦生産量はややマイナス修正、消費量はプラス修正、期末在庫及び貿易量はともにマイナス修正となった。前年度に比べ、生産量は小幅に増加、消費量はやや増加、期末在庫量は減少幅が比較的大である。2007/08年度の世界の小麦生産量は、前年度比2.9%増（1,742万トン）の61,040万トンと予測されている。また、期首在庫量は12,490万トン、今年度の総供給量は前年度比0.9%減の73,530万トンとみられている。今年度の世界の小麦消費量は、前年度比0.5%増の62,051万トン、うち飼料用は3.2%減の10,269万トンと予測されている。今年度は世界の小麦生産量が需要量を下回り、期末在庫量は前年度比1,012万トン（8.1%）減の11,478万トンと見積もられ、1982/83年度以来26年間で最低を記録するとみられている。世界の小麦在庫／消費比は18.5%で、前年度に比べ1.7ポイント下降し、1960/61年度以来最低の水準と予測され、国連食料農業機関（FAO）の想定する食糧安全警戒ラインに接近している。2007/08年度の世界の小麦輸入量は、前年度比3.1%減の10,592万トン、輸出量は1.3%増の10,875万トンとみられている。

主要輸出国のうち、米国の生産量及び輸出量はともに16%前後の増加、オーストラリアの生産量は1.3倍増・輸出は26.1%増見積もられている。一方、カナダは14.9%の減産・輸出量は21.9%減、アルゼンチンは7.9%の減産・輸出量は20.8%減、EU27か国はやや増産だが輸出量は14.8%減と見積もられている。

3 国内の新収穫麦市場は安定堅調、古麦の取り引きは次第に増加

(1) 新収穫麦（新麦）の買い付けは比較的活発、市場買付量は前年同期減

6月の新麦の販売開始以来、多方面からの買い付けが活発となったことに加え、最低買上価格政策などにも支持され、新麦の買上価格は次第に上昇した。8月の冀魯豫三省（河北省〔略称：冀〕、山東省〔同：魯〕及び河南省〔同：豫〕）の農家平均販売価格は100斤（約50kg：1斤＝約500グラム）当たり75.09円で、前月比1.4%高、前年同月比9.8%高となった。うち河北省は76円で前月比1.3%高・前年同月比5.2%高、河南省は73.73円で前月比1.7%・前年同月比13.1%、山東省は75.55円で前月比1.3%高・前年同月比8.4%となった。

今年の新麦買い付けの動きは、前半が活発で後半は緩慢になるという特徴がみられた。前半は農民の出荷意欲が積極的で、買付進度も速かったが、7月中旬以降、市場価格が高騰するに従って、一部の地域では農民の売り惜しみ心理が強まり、新収穫食糧の出荷進度はやや減退した。これに加え、加工企業など多方面からの買い付けが積極的に行われ、最低買上価格による買付量は前年同期に比べ大幅に減少した。統計によると、小麦主産地である河北省、山西省、江蘇省、安徽省、山東省、河南省、湖北省、四川省、陝西省、甘肅省及び新疆ウイグル自治区の11省区における8月31日までの各種食糧企業の新麦の累計買付量は3,953.9万トンであった。うち国有食糧企業の買付量は3,436.4万トンで、買付量全体の87%を占め、前年同期に比べ630.6万トンの減少となった。最低価

格買い上げを実施した6省の累計最低価格買上量は2,789.2万トンで、国有食糧企業の買付量の81%を占め、前年同期に比べ815.5万トンの減少となった。

(2) 古麦需要が旺盛となり、価格は小幅ながら上昇

新麦の販売量が減少し、価格が高騰するのに従い、一部の地区の加工企業では新麦買付コストが国家古麦競売価格を上回り、2006年の最低買上価格小麦の競売参加による小麦確保へと方向転換を図った。8月に数回行われた競売で、政府は最低買上価格小麦を大量放出し、成約量・成約率とも前期を大きく上回った。8月2日、9日、16日、23日及び30日に実施された競売成約量はそれぞれ18.31万トン、35.95万トン、59.26万トン、75.79万トン及び79.17万トン、成約率はそれぞれ44.25%、55.57%、69.84%、63.89%及び54.43%、平均成約量は53.7万トン、平均成約率は57.6%であった。参考までに、7月の平均成約量は8.1万トン、平均成約率は25.7%であった。

新麦価格が強含みで推移する中、8月の古麦価格は小幅ながら上昇した。鄭州市（河南省の省都）の食糧卸売市場における普通小麦（一般品質の小麦）の卸売価格は、1トン当たり1,536.25円で、前月比2.0%高、前年同月比9.5%高となった。同じく優良小麦については1,647.5円で、前月比2.2%高、前年同月比2.3%高となった。中秋節（旧暦8月15日）及び国慶節（10月1日）の両祝日に向け、小麦粉の消費が増加することから、小麦価格は引き続き安定を保持しつつも強含みで推移するものとみられている。

4 国際小麦価格は高値更新、小麦の内外価格差は引き続き拡大

今年は干ばつや豪雨など劣悪な天候がヨーロッパ、カナダ、オーストラリア及びアルゼンチンなど主産国の小麦生産量に深刻な影響を及ぼし、世界の小麦需給は厳しい情勢にあり、米国農務省（USDA）は世界の小麦在庫量がこの26年で最低となると予測している。加えて、米国の小麦輸出が力強い伸びを示していることもあり、8月の米国小麦価格は現物、先物とも高値を更新した。

【現物取引】8月末の米国メキシコ湾における硬紅冬麦（たんぱく質含有量12%）の平均港湾価格（本船渡し価格＝FOB価格）は1トン当たり302ドルで、月初に比べ35ドル（13.1%）高となった。月間平均価格は280.4ドルで、前年同月比20.4%高となった。西北大西洋の硬紅春麦（たんぱく質含有量14%）の平均FOB価格は1トン当たり275.6ドルで、前月比5.8%高、前年同月比35.2%高となった。

【先物価格】8月のカンザス先物取引所における硬紅冬麦の平均先物価格は1トン当たり246.24ドルで、前月比8.7%高、前年同月比43.3%高となった。ミネアポリス先物取引所における硬紅春麦の平均先物価格は同244.16ドルで、前月比5.0%高、前年同月比43.8%高となった。

8月は国際海上輸送費が引き続き上昇し、1トン当たり87.4ドルで前月比3.4%高、前年同月比では倍近くとなった。加えて小麦の国際価格の大幅な高騰もあり、小麦の内外価格差は引き続き拡大した。関税、増値税及び港湾諸経費などを含め総合的に考慮すると、8月の米国メキシコ湾における硬紅冬麦（たんぱく質含有量12%）の通関渡し価格（Duty Paid：C I F＋関税等）は、同月の国内優良小麦の消費地における卸売価格に比べ、1トン当たり1,397元高く、前月に比べ価格差が430元拡大した。